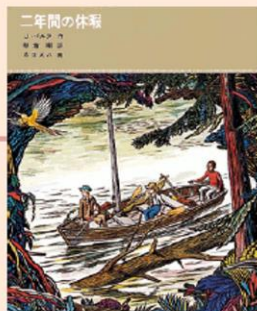




# 図書館員が選ぶ この一冊

12

『二年間の休暇』J・ベルヌ／著  
朝倉剛／訳 太田大八／画 福音館書店



1860年2月、南半球のニューギニアは夏、寄宿学校は長い休暇に入った。8歳から14歳の少年たちは帆船で夏休みを楽しむはずだったが、子どもだけに乗せた帆船は、荒れ狂う海で難破し、無人島に漂着する。いったいここはどこなのか？ 助けは来るのか？生きて帰れるのか…

『二年間の休暇』とは原題（フランス語）の直訳である。日本では『十五少年漂流記』の題名でお馴染みの作品。無人島生活を余儀なくされた15人の少年たちが、食べるものも守ってくれる大人も家も、何もない中、知恵と勇気と友情で数々の苦難を乗り越えた物語を、ぜひこの本で味わってほしい。